

平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471902500	事業の開始年月日	平成16年12月1日	
		指定年月日	平成16年12月1日	
法人名	株式会社 スマイル			
事業所名	スマイル住まいの横須賀大矢部			
所在地	(238-0024) 神奈川県横須賀市大矢部3-18-5			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成22年1月20日	評価結果 市町村受理日	平成22年5月10日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1471902500&SCD=320>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様、ご家族様、来客様様が来られた際気持ちのいい対応が出来るように努めています。また、お客様にとっても家だと思って頂けるように努力していきます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ケ'双ファースト 3階		
訪問調査日	平成22年2月27日	評価機関 評価決定日	平成22年4月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

中庭に面して各部屋があり、回廊式になっている館内です。死角もあることで、管理しにくい部分も見られますが、職員は常に注意しながら見守り、利用者もリビングで団欒しています。各居室に1間の押入れと天袋があり、収納は十分で居室の広さを感じます。お正月には、各部屋に松飾りを飾ったり、初詣に出かけたりと、季節の行事を大事にしています。リビングにアルバムがあり、外出や外食の楽しさが伝わってきます。入居者と職員、職員同士の雰囲気も大変なごやかで、職員はどなたも働きやすい、と言っています。買い物に行くスーパーやレストランは、あらかじめトイレの位置や広さを確認したり、介護の高い人も介助をして入浴するなど、表にでない努力をしています。帰りには、職員、入居者さんで見送ってくれました。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	スマイル住まいる横須賀大矢部
ユニット名	1

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフ一人一人の意見を聞きそれらをまとめたものを事業所の理念とし掲げています。	法人とは別に独自の理念を職員全員で作りました。介護はサービス業であることを踏まえ、お客様として対応することを、理念に掲げています。入居者のみでなく、どなたもお客さまとして接することを共有しています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご近所の方にはこちらから挨拶するように努め近くの小・中学生の体験学習などの受け入れを行っています。	町内会には加入していませんが、小学生や中学生の体験学習の場として、提供しています。小学校の体育会での展覧会に、入居者が書を発表したり、小学校の運動会の見物に行くなど、ホーム側から地域に溶け込む努力をしています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今一歩行えておりませんが、何か相談された際などにはお力になれるように努めたいとおもいます。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で話し合った事、市へ報告しています。またそこで出たご意見などは活かせるよう努めております。	市独自の 방법으로ブロックごとに年2回と、地域会議が2か月に1度あり、運営推進会議も兼ねています。地域包括職員、民生委員、家族の出席もあり、後見人制度や避難訓練方法など、得ることが多いです。非常時の応援などの話し合いは、今後行う予定です。	今はまだ、知識を吸収する段階で、ホームからの相談、提案は少ないですが、積極的に運営に役立たせることを望みます。実施後の書類も、議題への取り組み方法などの記録することが期待されます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要な時は連絡取るようには心掛けておりますが積極的には行なえていないのが現状であります。	市がグループホームの空き情報を収集して、連絡が入ります。また地域包括から入居希望者の相談もあります。ホーム側から、介護保険や高齢福祉課に、相談にのってもらうこともあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ一人一人が理解していると思います。鍵の施錠は最小限に抑えられていると思います。身体拘束については回覧しファイルに閉じてあります。	カギをかけるデメリットを職員、家族ともに把握しています。日中玄関のカギは空いています。ベランダ側の大窓は空いており、ベランダで洗濯物を干す人もいます。身体拘束の書類は回覧のみで、勉強会までには至っていません。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待につき学び事業所内で虐待がないように努めております。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会等があれば参加するように努めております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時などは話を良く伺い納得した上での契約に努めております。解約時も同様にご家族様の話をよく聞くように努めております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の面会時などの話を伺う様に心掛け、お客様のご意見等は日々の会話の中でも聞きだせるようにしています。	面会時には、家族からの意見を引き出すようにしています。グループホームの趣旨、ケア内容、体制など、理解されるよう説明しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ一人一人時間をかけ話す機会はなかなかありませんが少しでも会話をするように努めております。	管理者、所長と職員はフランクに話ができる雰囲気ですが、特に個人面接の時間などは設けていません。職員側から意見を出して、中庭にウッドデッキを設けました。暖かくなったら、活用するのを楽しみにしています。	平成21年度から、介護情報の公表も実施されたので、職員の協力を得て、PR、書類の整備等の検討が期待されます。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の能力・努力は把握しております。また働きやすい環境・整備に関しては努力しております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修会等は回覧し参加出来る方には参加して頂いています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修等に行ける際は行くように心掛けています。また交流会などの受け入れは行っております。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学時や契約時にご家族さま、ご本人様に話を伺いここで生活するにあたっての要望を聞き出すようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居するにあたりご家族様のご意見・要望を聞き職員へ伝達しております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様の要望を旨く聞きだしなるべく初期の段階できずけるように観察しております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事を見極め、出来る力を引き出せるように共に生活が出来る第一の場所を目指しています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員だけではなくご家族にもご意見を頂いたり、相談しご家族にしか出来ない援助もあるのでそこはご家族様にもご協力頂いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・ご友人が来所した際は一緒に過ごして頂き楽しいひと時を送って頂いています。	喫茶店でコーヒーを飲むのを楽しみにしている人には、一人でお金をもって出かけるなど、その人のADLに合わせて対応しています。昔の友だちが訪ねてくれる例もあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士近くの席にしたり一緒に居る様な物を用意し手伝って頂いております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談された場合などは対応しております。お亡くなりになられた時は入所当時の写真や作品をわたしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	要望・希望が伝えられる方には詳しく意見・要望を聞きまた旨く伝えられないかたにはご家族様から意見・要望を徴収しています。	何がしたいかは、よく話を聞いて、書や俳句をしたいと言う人には、希望がかなうよう支援しています。帰宅願望の人は、家族と外泊しています。布団を干してほしいと言う人には、布団丸洗いも含めて、支援しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族さま、ご本人様より意見を聞き、また日々の会話の中でも情報を収集しており、スタッフの連絡帳などに記録に残しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々観察を続け生活の様子を把握し、変わった事があれば記録に残し職員同士共有し意見交換などを行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメント時に知り得た情報を分析しご本人様・ご家族様の要望を踏まえ計画書を作成しご本人様に変化があった場合は改めご要望を聞いています。	日々の介護記録が丁寧にとり、それを基に介護計画書を作っています。訪問歯科に、舌もブラッシングするようとの指示は、プランに織り込んでいます。家族や本人から希望が出されるケースは、プランに取りいれています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	詳しい個別の記録を書くことにより職員間での情報を共有できモニタリングや計画書にも活かしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	支援の方法は個々に違うのでケア会議を開き職員の意見を聞き工夫した支援を行っています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との関わりとして近くの小学校へ招待されたり、こちらにも体験学習などで来て下さる機会があり、民生員さんとの交流も増えてきています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々にご本人様、ご家族様と相談し話し合い主治医が決まっており、定期的に診察を受けております。	今までのかかりつけ医を希望する人は、家族の付き添いのもとに通院しています。ホームとしての提携医があり、内科の訪問診療は月に2回きています。他に精神科、歯科が訪問してくれます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々お客様の状態を把握し適切な受診が受けられる様にスタッフ間同士の送り、情報提供に気を付けています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	必要に応じて主治医、看護師さんと密に連絡が取れる状態であります。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人様、ご家族様の意見考えを尊重しつつ主治医、訪問看護師さんと意見を交わしなるべくご希望に添えるように努めています。	医療連携体制を組んでおり、看護師は週に1度きてくれます。今までに急に亡くなった例もあり、ターミナル期に入った場合は、家族と看取りケア同意書を取り交わします。提携医と職員全体での勉強会を視野に入れていきます。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の訓練などは実際しておらず、研修会で頂いた資料などは全スタッフへ回覧しています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練などは定期的にお客様も含め行っており、また消防署の方にも実際立ち会って頂き消火器の使い方の指導も実際に行った事があります。	21年度は、3月と8月に行い、記録はあります。消防署への提出もしており、スプリンクラー、火災通報装置、自動火災報知設備も設置されています。駐車場で消火器の使い方を学びました。	事業所会議等の委員の力を借りて、非常に備え近隣との協力体制が築けるよう希望します。非常階段出口に置いてある、ゴミ箱などの整理が期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に尊重と敬意を持って言葉掛けをしたり対応をしています。また言葉掛け等によりお客様を傷つけないように配慮しています。	お店で物を買ってくださるお客様を利用者とは呼ばない、ことを理解するのが原則です。なじみの関係になっても、敬語で話します。本人が大事にされていると感じるにはどうしたらよいかを、職員一同で考えています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常日頃から言葉掛けを行い思いや希望に添える様にしています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は一人一人のペースに合わせて本人様の希望に添える様にしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日頃からその方らしい身だしなみおしゃれに気を配っております。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の能力に合わせ野菜などの皮むき盛り付け、配膳、テーブル拭きなど行って頂いております。	メニューは、職員が利用者の希望を聞きながら考えます。回転ずし、ソフトクリーム、鎌倉での懐石弁当など外食を楽しんでいます。おせち料理に腕をふるってくれる方もいます。食べ終わった食器を運ぶなどの、お手伝いもあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は毎日記録に残し一人一人の状態に合わせて食事量を調整したり話し合いの場を持ちスタッフ同士話し合い決めています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人一人の状態に合わせて、声掛け、見守り、介助で行っています。また実施したかどうか記録に残しています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握しトイレ誘導が必要な方には時間を見て声掛け誘導を行っています。	ミーティングで、利用者の排泄リズムを共有し、対応の仕方を研修しています。しぐさ、リズム等に注意して、声かけをしています。失敗した時には、トイレにさりげなく誘導し下着を取り替えます。居室の隣にトイレがあり自立を容易にしています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動での働きかけはなかなか実行出来ずありますが、個々に応じて飲食等で考えながら予防に取り組んでいます。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	一人一人の入浴希望時間に添えるようにしており、季節により菖蒲湯やゆず湯にしておりますが夜間の入浴は今現在行っておりません。	出来るだけ希望の時間に入浴できるように支援しています。入浴拒否の方には時間をあけて再度勧める等工夫をしています。檜のお風呂、更衣室の床暖房、季節感のあるしょうぶ湯、柚子湯、また入浴前後には水分補給を行い、快適な入浴になるよう心がけています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	無理して起きて頂く様な事はせずお一人一人のペースに合わせて休息して頂いたりご本人様の気持ちを尊重しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の確認は必ず行い、服薬困難なお客様にはヨーグルトに混ぜたりと服薬方法にも配慮しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人一人の趣味や役割等を把握しこちらから声掛けをしたり、自ら行える様それとなく支援しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	良い気候、天気時には散歩をしたり、その季節に合わせて外出を企画したり、その方の意思を尊重しなるべく希望に添えるような対応を心掛けています。	日常は近隣の公園付近の散歩、近くのスーパーでの買い物に、利用者1～2人に職員1名がつき支援しています。気分転換に近所のレストランで食事を、少し遠くの菖蒲園、牧場などには車で出かけ外出を楽しんでいます。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お一人お一人の能力に、希望に答え出来る事はして頂く様に心掛けています。また毎日のように希望する方と一緒に買い物へも行って頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により電話を掛けたいときには事務所の電話を使って頂いています。また、手紙のやり取りにもスタッフが強力しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしています	共用の空間は不快や混乱を招かないよう配慮しており、季節感を採り入れ花や絵を飾ります。	リビングは、全員がゆったりできる広さで、テレビ、テーブルが置かれ団樂を楽しんでいます。ウッドデッキの中庭が各部屋に面し、廊下には利用者の絵や人形、俳句作品が飾られ、部屋の前には、ベンチが所どころ置かれ、休息が出来ます。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同空間の中にソファを配置して思い思いに過ごせ自由に移動出来る様に工夫しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居時にご本人様、ご家族様と相談しながら使い慣れた物や好みの物を持ってきて頂き過ごしやすく居心地のいいお部屋作りを工夫しています。	居室は、収納場所も大きく押入れ、天袋が利用できます。使い慣れたタンス、ぬいぐるみ、人形あるいは仏壇なども持ち込まれています。またレースのカーテンがかけられ家庭的な雰囲気があります。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人一人の力に合わせて安全に過ごせるように歩行器、杖を使用して頂いたり、またお手洗いに手すり掴まって立てる様にポールを設置しています。		

事業所名	スマイル住まいる横須賀大矢部
ユニット名	2

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフ一人一人の意見を聞きそれらをまとめたものを事業所の理念とし掲げています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご近所の方にはこちらから挨拶するように努め近くの小・中学生の体験学習などの受け入れを行っています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今一歩行えておりませんが、何か相談された際などにはお力になれるように努めたいとおもいます。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で話し合った事、市へ報告しています。またそこで出たご意見などは活かせるよう努めております。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要な時は連絡取るようには心掛けておりますが積極的には行なえていないのが現状であります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ一人一人が理解していると思います。鍵の施錠は最小限に抑えられていると思います。身体拘束については回覧しファイルに閉じてあります。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待につき学び事業所内で虐待がないように努めております。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会等があれば参加するように努めております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時などは話を良く伺い納得した上での契約に努めております。解約時も同様にご家族様の話をよく聞くように努めております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の面会時などの話を伺う様に心掛け、お客様のご意見等は日々の会話の中でも聞きだせるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ一人一人時間をかけ話す機会はなかなかありませんが少しでも会話をするように努めております。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の能力・努力は把握しております。また働きやすい環境・整備に関しては努力しております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修会等は回覧し参加出来る方には参加して頂いています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修等に行ける際は行くように心掛けています。また交流会などの受け入れは行っております。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学時や契約時にご家族さま、ご本人様に話を伺いここで生活するにあたっての要望を聞き出すようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入時にあたりご家族様の不安や様々な思いを受け止め傾聴しながら信頼関係を築き上げるよう努力しています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じて他のサービスの利用の調整を行なっています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の話を聞き安心・安定に送れるよう努力しています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事などについてご家族様に参加を求めたり両方で介護しているという気持ちを持って頂いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	実際に会いに行くのは難しかったりするのでこちらにいらして頂いております。またご家族様に連れて行って頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の話合いの場にスタッフも参加し孤立しそうなお客様の傍につきお客様同士での会話の糸口となるようにしています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今までそういった例はありませんでしたが、そのような事があれば力になれるように努めていきます。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に個々の生活スタイルや以前の習慣を理解するように努め観察しています。また、その事に対するご本人様の反応に合わせ対応しています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様から昔の話を聞き、希望を尋ねる等してなじみの暮らし方が継続出来る様に支援していきます。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	なるべくこまめに声掛けを行い活動を増やしご本人様の出来ること出来ない事を見極め支援していきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人様の状況変化やご家族様の要望に応じて臨機応変に対応していきます。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>生活の様子などを誰が見ても分かるように具体的に記入していくように努めてまいります。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々のニーズに応じ他のサービスを紹介するなどの支援を行なっていきます。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生いんさんやボランティアさん、地域との関わりを持ち地域のなかで安心して暮らせるように支援します。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人様、ご家族様の要望に応じ希望する医師に診察してもらえるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>お客様の变化に気づくように日々観察し変化があった場合には速やかに連絡し先生や訪問看護師さんの指示を受けています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>週1回の訪問看護を受けているのでそこからも入院しているお客様の情報がきけています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期にはご本人様、ご家族様のご意見・要望を聞き緊急の場合には対応出来るように努めています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>今現在訓練は行なっておりませんが緊急時の対応など資料となるものはファイルしてあります。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練は行なっておりますが、水害時の避難訓練は行なった事はありません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に合わせた対応をしお客様の誇りやプライバシーを損なわないような声掛けに努めています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様とのコミュニケーションを図りご希望に添えるように努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様一人一人のペースに合わせてご自宅に居たときと変わらない生活を送れるようにお客様のペースに合わせています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節にあった洋服をご用意出来る様に努めています。また、定期的に訪問理美容が受けられる様に支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様のご意見要望を聞き尊重し、希望に添える様にしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は記録に残していません。また、お客様により食事量を変えています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お客様一人一人のペースに合わせ、声かけ、見守りをしています。また行なった事を記録に残しております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お客様のペース、排泄パターンに合わせて支援しています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動はなかなか行なえておりませんが飲食物での対応、または薬での調整を行っております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	お客様のご希望に添える様に努力はしておりますが全員の希望へは添えておりませんがなるべく添える様に努めていきます。季節により菖蒲湯、柚子湯にはしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人お客様の意思を尊重し支援しております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	数回に渡り服薬確認を行い、また服薬困難なお客様にはゼリーやヨーグルト・オブラートに包み服薬しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の生活歴や嗜好品を把握し添える様に支援しております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お客様の希望によりスーパーで買い物したり近くの公園へ行く事はあります。また季節に合わせ外出を企画したりはしています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	毎日の買い物時に実施しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お客様の要望に合わせ、電話をかけたり手紙のやり取りは行なっております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節により壁飾り等飾っており、また混乱などが起こらない様に配慮していますが今後も今まで以上に過ごしやすいように努力していきます。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	過ごし易い環境・居場所を提供出来ていると思いますが今後もより一層提供出来るように努めていきます。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様、ご本人様と話し合い使い慣れた物などを持ってきて頂いています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の状況を把握し安全に過ごせるように見守りしています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		活動面	活気のある生活	外に行く機会を増やす。(散歩・外出レク) 体操をしたりし体を動かす。中庭の活用。(お茶を飲んだり・レクをしたり) 月1程度1階・2階の流会を開くなど	3ヶ月
2		言葉使い	丁寧語を用いる。	全てにおいて丁寧な言葉を用いる。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。